



学びから行動へ！

持続可能な社会を支える 「行動する人づくり」



～ 愛知県環境学習等行動計画2030 ～

普及版



愛知県環境学習等行動計画 2030

〔目的〕 持続可能な社会を支える「行動する人づくり」

持続可能な社会を形成していくためには、私たち一人一人が問題を解決する能力を身に付け、具体的な行動を起こしていかなければなりません。本計画は、SDGs※の採択など近年の動向も踏まえ、行動につなぐ力を一人一人に育むということを主眼に置いて策定しました。

一人一人の学びを **行動につなぐ** ために…

本計画では、「家庭」「学校」「社会」でどんなことに取り組んでいけばいいのかという環境学習等の方向性を示しています。



家庭・学校・社会において育む
学びを行動につなぐ
「五つの力」

→ 環境学習等を通じて育む「五つの力」

学びを行動につなぐために一人一人に身に付けることが望ましい「五つの力」を示し、それらを育むことを念頭に置きながら環境学習等に取り組むことで、「行動する人づくり」を進めます。

体感する力

理解する力

探究する力

活用する力

共働する力

持続可能な社会づくりに
向けた
行動

→ 環境学習等の機会の拡充・質の向上

世代ごとに特色を持たせた環境学習等の機会を拡充するとともに、連携・協働の推進、SDGsや身近な環境問題との関連付け等により、環境学習等の質を高めます。

※ SDGs：持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)

2015年の国連サミットで採択された、2030年までに達成すべき国際社会全体の目標で、「誰一人取り残さない」を理念に、世界が持続可能な道を歩むための行動をすべての国に求めている。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



概要（計画期間：2018～2030年度）

各主体に期待される取組と施策の展開

家庭

〈各主体に期待される主な取組〉

- 直接体験（身近な自然の体験等）の機会の確保
・ 様々な体験により、感性を育む
- エコアクションの実践
- 世代間の学び合い・育ち合い
・ 昔の知恵・慣習や、学校で得た知識・習慣から互いに学び合う

学校

- 発達段階に応じた環境教育の実施
- 体験学習・問題解決的な学習の充実
- ESDの視点を意識した環境教育の実施
- 多様な主体との連携・協働による環境教育の実施
- 学校の外へと発展する環境教育の実施
- 環境教育やESDの推進のための人材育成と研究

社会

- **【事業者】** 事業活動での環境負荷低減を通じた実践的な環境学習の実施など
- **【NPO等】** 専門性を活かした環境学習の実施など
- **【地域コミュニティ】** 地域の行事や課題を素材にした環境学習の実施など
- **【行政】** 地域の特性を活かした環境学習等を実施できる環境づくりなど

〈県の推進する主な施策〉

- 家庭での環境学習に役立つ情報の収集・発信
- 体験等を通して、気軽に楽しく学び合える機会と場の確保

- 環境教育の促進
・ 自然とふれあう学習の促進
・ 低炭素社会、水、資源循環、エネルギー、買物や食に関する学習の促進
・ 学習施設等のネットワークの活用など

- 環境学習等の推進のためのネットワークづくり
- 環境学習指導者の育成と活用
- 各主体の専門性等を活かした環境学習等の促進
- 環境学習等を行う市町村等への支援など

世代に応じた取組の拡充

連携・協働の強化

○ 多様な主体の連携・協働

各主体の強みを活かした効果的な環境学習等を促すための仕組みづくり
（環境学習コーディネーターの設置、環境学習施設間の連携など）

○ 世代間の連携・協働

異なる世代の学び合い・育ち合いを促すための環境づくり
（中高年の知識や経験等を活かした環境学習等）



計画の推進

1 推進体制

- 「愛知県環境教育等推進協議会」を中心に取組を推進
（構成員：県民、事業者、NPO等、学識経験者、教育関係者、市町村）

2 進捗状況の把握

- 代表的な取組について、定量的・定性的に評価
- 必要に応じて5年程度で計画を見直し



環境学習等を通じて育む行動につなぐ「五つの力」



体感する力

～自然の素晴らしさや環境の大切さを感じ取る力～

ポイント

身近な自然の観察や地域の清掃活動などの様々な体験を重ねていくことで、自然の素晴らしさや日々の暮らしを支える環境の大切さを感じ取る感性が磨かれていきます。



身近な自然にふれて、不思議さを発見！

理解する力

～私たちの活動が環境に影響を与えていることを、
自分のこととして捉える力～

ポイント

ごみのポイ捨てと水辺の生きものとの関わりといった身近な題材を取り上げることで、具体的な気づきを得ることができ、環境問題を自分のこととして捉える力が育まれます。



川から流れてきたごみで、卵が産めない...

探究する力

～環境問題を多面的に考察し、その本質や解決策を見つけ出す力～

ポイント

環境課題とその対策などについて、知識や経験をもとに様々な面から考察していくことで、より広い視点や異なる立場からの考え方を育むことができます。



環境問題を様々な側面から考えてみる

活用する力

～環境を守るために必要な知識やスキルを自ら身に付け、活かす力～

ポイント

学んだことをもとにできることを考え、身近なところから実践して成果を実感することで、さらに知識やスキルを身に付けたいという意欲が生まれ、学習と実践の好循環につながります。



調べたことを実践で活かす

共働する力

～共に未来を創り出すために、みんなとつながる力～

ポイント

学校や地域の行事などをみんなで協力し合って成功させることで連帯感が生まれて、行動を起こしやすくなったり、強みを活かして行動が発展したりします。



力を合わせると成果ややりがいアップ！



「五つの力」を育む

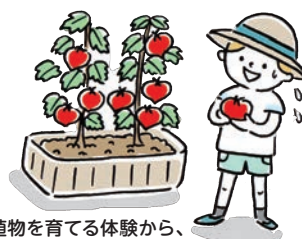
家庭

でできること(例)

家庭は、生活と環境との関わりに気づく最も身近な学びや実践の場、世代間の学び合いの場であり、各家庭での取組の積み重ねが、持続可能な社会の実現につながります。

直接体験

- ・身近な自然とたくさんふれあい、感動や驚きを分かち合う
- ・知識として学んだことを暮らしの中で実践してみる



植物を育てる体験から、自然の素晴らしさを実感

エコアクションの実践

- ・日々の生活から出る排水やごみなどを減らす
- ・地元産の旬のもの、詰替用商品などを買うといった環境にやさしい買物をする

世代間の学び合い・育ち合い

- ・節約などの昔の知恵を祖父母や親から子へ伝える
- ・学校で学んだ知識を家族みんなで実践する



毎日の買物でも、いろいろ学んで実践できる

学校

でできること(例)

学校は、様々な体験を重ねながら知識・技能を身に付けて成長していく場であり、主体的に考え自主的に行動する力を養うことで、持続可能な社会の実現に向けて行動する人を育みます。

発達段階に応じた環境教育の実施

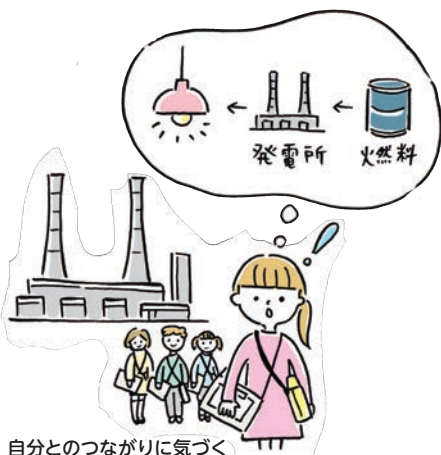
- ・授業や課外活動を環境の視点から見直してみる
- ・緑のカーテンや菜園など園・学校にあるものを教材として活かす
- ・各教科・活動を関連付けることで、課題を多面的に捉える

体験学習・問題解決的な学習の充実

- ・身近な自然や生きもの、地域の環境問題を題材として取り上げ、生きた学びにする



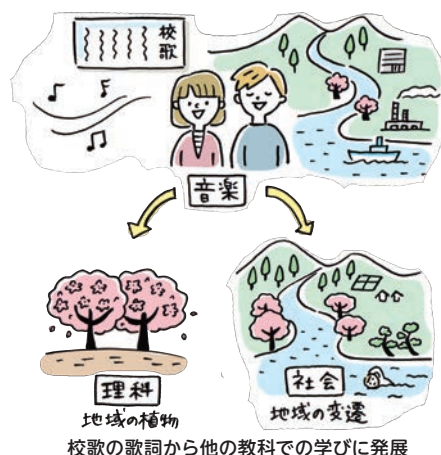
緑のカーテンも身近な教材に!



自分とのつながりに気づく

学校の外へと発展する環境教育の実施

- ・課外活動や家庭学習で保護者や地域の人と交流を促して、学び合いの機会とする
- ・各校での実践から得られたノウハウを学校間で共有し、地域全体の教育力を高める





社会

でできること(例)

事業者やNPO、地域コミュニティ等が強みを活かしながら学校等と連携・協働することで、発展的・専門的で実践的な環境学習となります。

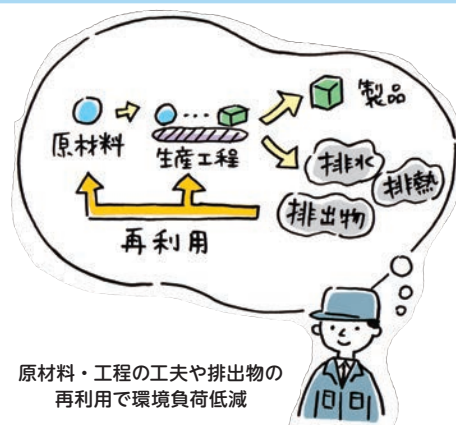
事業者

社員教育の中での環境学習等の実施

- ・事業活動を環境との関わりの中で捉え直してみることで、社員の意識を高めるとともに、自社のリスクマネジメント向上などにもつながる

事業活動での環境負荷低減を通じた実践的な環境学習等の実施

- ・自社の環境配慮の取組を発信することで、消費者が環境を学ぶ機会や、買物を通じてエコアクションを実践する機会を提供する



専門知識やスキルが子どもたちの興味を刺激!

NPO 等

地域における発展的な環境学習等の実施

- ・専門的な知識や経験、ネットワークなどの強みを活かして、地域や学校などの環境学習等の質を高める

地域コミュニティ

地域の行事や課題を通じた環境学習等の実施

- ・地域の行事や活動の拠点を環境学習等に活かす
- ・地域の課題に取り組む活動や成果を共有して、次の行動につなげる



地域イベントも工夫次第で環境学習に

行政

地域の特性を活かした環境学習等を実施できる環境づくり

- ・各地域の計画や統計データを地域の環境学習等の教材として提供する
- ・住民の身近な場や機会を、講座開催や見学の受入れに活用して、指導者の育成等を促進する

環境学習等を行う各主体への支援

- ・教材の提供や講師の派遣などで、学校や地域の学習を生きたものにする
- ・優れた取組の発掘・発信でやる気を引き出す



効果的な学びにするために



誰もが学べる機会を得られるように ～世代に応じた取組の拡充～



生物多様性



同じテーマでも、世代によって内容を変える

》各世代のニーズに応じた取組

世代ごとに適した環境学習等は異なります。同じ学習テーマであっても、対象とする世代のニーズに合わせて特色を持たせることで、効果的な学びになります。

〈県の主な取組〉

未就学児：一日もりの学舎ようちえん
もりの伝道師派遣など

小中学生：環境学習副読本の作成・配布、
各種環境学習講座など

高校生：あいちの未来クリエイト部

大学生：かがやけ☆あいちサステイナ研究所

社会人：あいち環境塾

など

強みを活かし合って、学び合い・育ち合う ～連携・協働の強化～

》多様な主体の連携・協働

各主体が相互に連携・協働して、それぞれの持つ人材、場、ノウハウ等の強みを活かし合っていくことで、効果的な環境学習等が実現します。

- ➡ 講師探しは地域の人や団体に、学習の場探しは身近な施設や自然に、目を向けてみる
- ➡ 事業活動で培った専門性を活かしてみる
- ➡ 環境学習コーディネートの仕組みを活用して、新たな出会いを見つけてみる

》世代間の連携・協働

異なる世代が互いの知恵や知識を学び合うことで、気づきや発見を得る育ち合いに発展します。

- ➡ あらゆる世代が参加しやすいしかけや、学習の中に対話を促す工夫を考えてみる



多様な人と力を合わせることで、新たな学びに

ご利用ください

まなびや

もりの学舎で自然を体感！

愛知万博で行われた森のツアーなどの自然体感プログラムを継承する愛知県環境学習施設もりの学舎(まなびや)では、「森の案内人」と呼ばれるインタープリターが、様々な感覚や想像力を駆使して自然とふれあう多彩なプログラムを行っています。

インタープリターは、自然の素晴らしさやその価値を単に知識として伝えるのではなく、参加者が自然を体験したり発見したりすることをサポートすることで、「自然の価値」や「自然と人との関わり」について一人一人の自主的な気づきや学びを促しています。

もりの学舎

検索



あえる

AEL ネットの施設で、気軽に楽しくエコが身につく♪

AEL ネット(愛知県環境学習施設等連絡協議会)に加盟している県内200以上の施設等では、身近な場所で気軽に楽しく環境を学んでいただけます。各施設が特徴を活かしながら、自然、水環境、ごみなどについての体験や調べ学習といった様々な面から環境学習等の機会をそれぞれ提供するとともに、施設間の連携によって地域における環境学習等の質の向上と機会の拡充に努めています。

AEL ネット

検索



環境学習での連携・協働をお手伝い Tel.052-972-9011 (あいち環境学習プラザ)

環境学習等において実感を伴った学びとするためには、専門的な人材への依頼や実体験のできる教材・施設などの活用が有効です。

そこで、愛知県では、体験等を通じた実践的な環境教育を広く実現していくことを目指し、環境学習を受けたい方(学校、地域コミュニティ、企業など)と環境学習を提供できる方をつなぐ環境学習コーディネーターが、講師、教材、場所、施設などの紹介や調整を行っています。

また、「環境教育 協働授業づくりハンドブック」では、社会の課題解決に取り組む事業者・NPOが、専門的な知識や技術等を活かして学校と授業を一緒につくり上げることで、子どもたちが学んだことを生活や社会に結びつけて行動できるようになることを、事例を通して分かりやすく紹介しています。

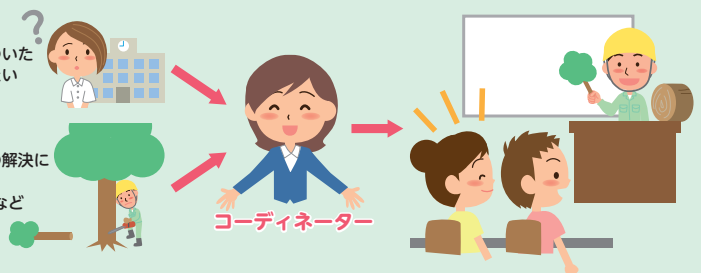
あいち協働授業づくり

検索

実生活と結びついた授業をしたい先生

社会の諸課題の解決に取り組む事業者・NPOなど

コーディネーター



愛知県環境部環境活動推進課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
Tel.052-954-6208

平成30年3月発行

UD
FONT
by MORISAWA

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC
www.fsc.org
FSC® C011530